

大阪市「虚偽説明」濃厚に

カジノ用地賃料不当鑑定疑惑

市が「IR考慮外」指示

日本共産党大阪市議団と、たつみコータロー知事候補（無所属）は14日、大阪市役所で記者会見し、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）用地の賃料を不当に安くしカジノ業者を優遇している疑惑をめぐり、不動産鑑定評価から「IRを考慮外」としたのは大阪市の指示だったことを明らかにしました。大阪側がこれまで行ってきた説明と異なる公文書の存在を示し、虚偽説明の疑いが高まったとしました。党市議団から山中智子団長、井上ひろし、長岡ゆりこの各市議員が出席しました。



会見する（左から）長岡、山中、たつみ、井上の各氏＝14日、大阪市役所内

党市議団・たつみ氏会見

大阪港湾局や松井一郎市長は、これまで鑑定業者の方から「IRは国内に実績がなく、鑑定評価するは技術的に困難だ」とする意見を市が受けたと説明していました。ところが、しんぶん赤旗（日）の報道公開請求で開示された資料で、大阪市が鑑定を依頼すると同時に「IR考慮外」という指示をしていたことが判明しました。

山中氏は「意図的に不適切に土地を安く賃貸することで、市民に損害がかかることに

なる。納得いく説明と鑑定をやり直しを求めたい」と述べました。たつみ氏は、会見で「文書の存在」「確かめる」

松井市長

大阪市の松井一郎市長は14日の記者会見で、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）用地の鑑定評価をめぐり「IRを考慮外」としたのは大阪市の指示によるものだったとする文書の存在について問われ、「もう一回確かめる」と述べました。

日本共産党大阪市議団と、たつみコータロー知事候補が直前に記者会見した内容を受け、松井市長は「これ

を受けて「カジノ誘致をめぐる新たな大問題を、知事選でも大きな焦点にしていく」との声明を発表しました。

文書の存在

「確かめる」

までの市の説明に虚偽は「なかったと聞いている」「鑑定事業者の方から『日本で実績のないIRについては前提にするのは難しい』という話を聞いて考慮

大阪市の説明と異なる公文書の記録

松井一郎市長の説明は…



「IRというのは日本にないということで、鑑定事務所からIRを基本とした鑑定額は出せないという話がありましたので考慮外とした」（昨年12月15日会見）

”鑑定業者ができないと言ったから”と主張

公文書の記録は…

（1）依頼者指示に基づき、大阪市及び大阪府が進める「（仮称）大阪・夢洲地区特定複合観光施設建設運営事業」に係る価格形成要因への影響を考慮外とした鑑定評価を行う。

2019年8月、鑑定業者と市の「確談書」

依頼者＝大阪市の指示で考慮外にした

（2023年3月15日付しんぶん赤旗）

外にした「共産党市議団が示した」文書が「確かめる」と語りました。

大阪港湾局に